

事業活動と環境負荷

ニチレイグループの食品工場や物流センターにおける環境負荷のみならず、原材料の調達から商品消費/使用時にいたるまで、事業活動がおよぼすすべての環境への影響を考え、負荷低減に努めます。

食品工場では…

食材の調理、加熱、冷凍のための設備で、電力、重油、ガスなどのエネルギーを使用します。
また、加工時にでる生ごみや原材料の包装資材などの廃棄物が発生します。
このほかにも、設備洗浄後の排水や従業員用の送迎バス運行によるエネルギー消費に伴う環境負荷が発生します。

調達時には…

漁業や、農産物、畜産物の育成・飼育において、エネルギーや資材、水などを使用し、廃棄物が発生します。
また、これらを商材としてカット、凍結処理、箱詰めなどの加工を行う際にも、エネルギー、資材を使用し、廃棄物が発生します。

2004年度実績集計対象事業所

下記各社の食品工場、物流センターなどを集計対象としている。
事業所が複数ある場合は()内に数を記載

ニチレイ フラワー事業部	(株)ニチレイ・ロジスティクス北海道(6)
ニチレイフーズ	(株)ニチレイ・ロジスティクス東北(3)
(株)ニチレイフーズ・プロ(9)	(株)ニチレイ・ロジスティクス関東(8)
千葉畜産工業(株)	(株)ニチレイ・ロジスティクス東海(11)
(株)ニチレイ・アイス(2)	(株)ニチレイ・ロジスティクス関西(16)
(株)中冷	(株)ニチレイ・ロジスティクス中国(7)
ニチレイフレッシュ	(株)ニチレイ・ロジスティクス四国(9)
(株)まるいち加工(3)	(株)ニチレイ・ロジスティクス九州(16)
横浜南プロセスセンター	(株)キョレイ(4)
川越プロセスセンター	下関漁港運輸(株)
ニチレイロジグループ	三重中央市場冷蔵(株)
(株)ロジスティクス・ネットワーク(25)	ニチレイバイオサイエンス
(株)ロジスティクス・オペレーション(5)	開発センター

※工場、物流センターの同一敷地内にある事業所のエネルギー使用量なども含まれる
※上記以外の本社、支社、国内子会社などの事務所で使用する車両の燃料使用量を一部含む
※海外事業所は含まれない

ニチレイグループの INPUT/OUTPUT

INPUT

原材料

原材料	114(千トン/年)	包装資材	16(千トン/年)
-----	------------	------	-----------

エネルギー

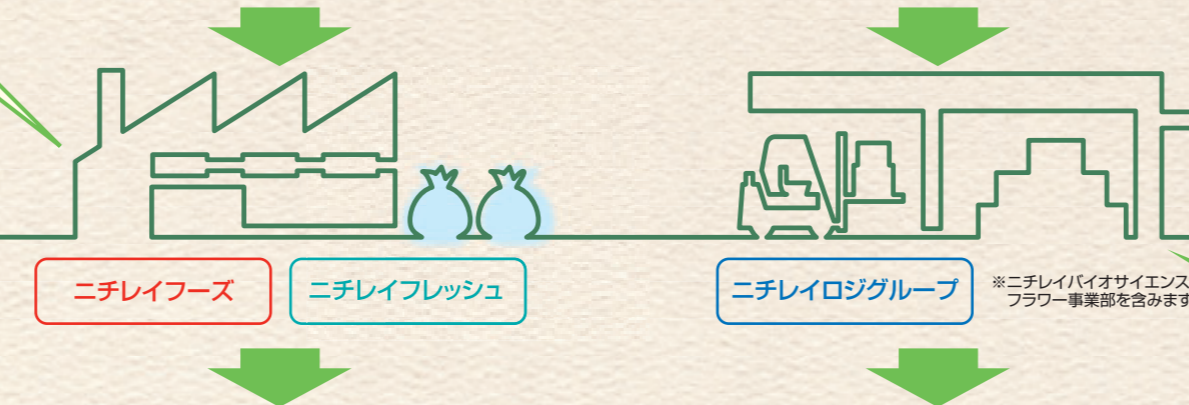
購入電力	413,687(千kwh/年)	LPG	937(千m ³ /年)
重油	5,716(kℓ/年)	ガソリン(社有車)	282(kℓ/年)
灯油	2,514(kℓ/年)	軽油(社有車)	275(kℓ/年)
都市ガス	2,217(千m ³ /年)	エネルギー熱量換算^{※1}	4,587,782(GJ^{※2}/年)

水資源

上水道	1,402(千m ³ /年)	地下水(井水)	2,093(千m ³ /年)
工業用水	700(千m ³ /年)	合計	4,195(千m³/年)

※1 換算係数
電力:省エネ法施行規則(2002.12.27 改正)による
その他の燃料等:資源エネルギー庁発表「エネルギー源別発電熱量表の改訂について(2001.3.30)」による

※2 GJ(ギガジュール):J(ジュール)はエネルギーの単位で、4.2Jが約1calに相当する



OUTPUT

大気系

CO ₂ ^{※3}	189,805(トンCO ₂ /年)	SOx ^{※5}	34(トン/年)
NOx ^{※4}	29(トン/年)		

水系

下水道	1,076(千m ³ /年)	BOD ^{※6}	112トン
河川	1,659(千m ³ /年)	COD ^{※6}	19トン
合計	2,735(千m³/年)		

廃棄物

事業所外排出量	31(千トン/年)	リサイクル量	25(千トン/年)
		最終処分廃棄物量 ^{※7}	6(千トン/年)

※3 排出係数:「事業者からの温室効果ガス排出量排出量算定方法ガイドライン(試案 VER1.5)」による
(昨年度の係数と異なるため、以降のページで2003年度以前のデータを掲載する場合は修正しています)

※4 排出係数:「環境活動評価プログラム-エコアクション21-」(環境省総合環境政策局発行)より

※5 排出係数:「窒素酸化物総量規制マニュアル(改訂版)」(環境庁大気保全局発行)より

※6 排水濃度測定を実施している場合のみ排出量を算出

※7 事業所外に排出される廃棄物のうち、直接処分場に埋め立てられる廃棄物およびエネルギー利用などがなく単純焼却される廃棄物の量

消費時には…

商品の冷凍・冷蔵保管や調理の際に、電力やガスを使用します。
また、商品の容器包装材が廃棄物として発生します。
一方で、冷凍食品などの加工食品については、調理時の生ごみがほとんど発生することなくご利用いただけます。

輸配送時には…

ニチレイロジグループの物流サービスや自社商品の輸配送のために、協力運送会社のトラック、鉄道、船舶などの利用でガソリンや軽油などのエネルギーを使用し、排気ガスやCO₂が発生します。
一方、物流の効率化などを提案することを通じて、環境負荷の削減に取り組んでいます。

物流センターでは…

冷凍設備やバッテリーフォークリフトの稼働により、電力を使用します。
また、荷崩れを防止するために使用しているプラスチックフィルムや破損パレットなど、不要となった物流資材や包装資材が廃棄物として発生します。
多くの冷凍設備で使用するフロンについては、適切な保守管理を必要とします。